

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991600071		
法人名	株式会社 奉仲		
事業所名	アルプスのなかまたち		
所在地	山梨県南アルプス市桃園345-3		
自己評価作成日	令和 4 年 12 月 15 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaignokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php">http://www.kaignokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和 5 年 3 月 30 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「奉仕して伸ばす新しい介護」をスローガンに目標を立てて運営しております。利用者様が中心となり1日の活動に取り組むことで、役割を持った生活の実現や、認知症になってからも生き甲斐の持てる生活が出来る様に職員一同頑張っております。1日の家事(野菜の皮むきや、お茶碗拭きや、洗濯物たたみなど)の他、体操やアクティビティ、お散歩など体を動かすこと、頭を使うことなど取り組んでいます。そのため、1日の充実した生活が出来ていると思います。また、とても話し声や笑い声、笑顔が多い施設です。個々の利用者様の能力や好きな事を見極め引き出していく個別介護に力をいれていて、それによって利用者様の自信がつくことで介護予防に繋がる介護を目指しております。またコロナウイルス感染防止の最大限の努力をしながらも、ご利用者様が退屈にならないように毎月施設内のイベントの開催やご家族との関わりの維持に力を入れております。職員の体調管理にも力を入れています。利用者様が自宅と変わらない生活ができる家庭的な雰囲気の中で暮らしの継続や、健康の維持をしながら楽しく生活できる施設です。利用者様の体調管理の為に介護ロボット、エアドックも導入しました。本年度、災害時の電力確保の為に太陽光発電も導入しました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成26年に開所した当時業所は、創業者の熱い思いの元「奉仕して伸ばす新しい介護」を目指し、「利用者一人一人を尊重し、個別介護、いきがいの提供、家族・地域との絆を大切に」の4項目を掲げ、日々ケアに努めています。特に不安な思いで入所する利用者に寄り添い、安心して信頼できる場所であることを、勤続年数の長い職員を中心に常に考え接しています。コロナ禍であるが、できるだけ家族や地域の絆が途絶えないよう職員一同工夫し、利用者の笑顔を引き出しています。医療面では看護師の中や相談役の医師がおり、的確な医療面の判断や緊急時の対応ができ、利用者の体調管理システム(見守り支援システム)の導入により、きめ細かく利用者の状態を把握することができます。安全・安心そして穏やかに生活できる事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) <b>(※窓越しの面会など距離をとった交流)</b>	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている(参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている(参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己評価および外部評価結果		事業所名	アルプスのなかまたち		外部評価		
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )			
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、施設内の職員やお客様が常に見える場所に貼って、個々の利用者様が役割を持って過ごせるよう援助が出来るようにしています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員が一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、施設内の職員やお客様が常に見える場所に貼って、個々の利用者様が役割を持って過ごせるよう援助が出来るようにと思っています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員が一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	職員皆で作った理念を、玄関や会議室等、目につく場所に掲げ、常に意識できるようにしています。月1回の会議にも必要に応じて確認し、共有しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ前は市内の方による月一回のイベントを開催していましたが、コロナ過では近所へお散歩、お庭を見せさせていただき、お饅頭屋一体みなど感染症対策をしながら地域の方とお話をしたり地域の一人として暮らしていると考えています。ホームの花壇にはご近所様が花や外灯を寄付してくれ草取りをしてくれ綺麗にしてくれています。自治会にも加入し事業所の入り口に地域の地図も取り付けさせていただきました。非常時の協力もお願いしており、地域にAEDの貸し出しもしております。	コロナ前は市内の方による月一回のイベントを開催していましたが、コロナ過では近所へお散歩、お庭を見せさせていただき、お饅頭屋一体みなど感染症対策をしながら地域の方とお話をしたり地域の一人として暮らしていると考えています。ホームの花壇にはご近所様が花や外灯を寄付してくれ草取りをしてくれ綺麗にしてくれています。自治会にも加入し事業所の入り口に地域の地図も取り付けさせていただきました。非常時の協力もお願いしており、地域にAEDの貸し出しもしております。	コロナ禍で施設内での関わりは持てないが、施設敷地内の草取りや花壇の手入れ等、頻繁に行う近所の方がいたり、散歩中に声をかけくださる方がいて、地域の中で受け入れられています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	通常は地域の認知症を抱えた在宅の方や地域の高齢者に対して月一回のイベントのお誘いをして参加していただいたり、施設内で取り組んでいる対応などを民生委員の方を通して地域に発信したりしている。地域の方々の歌や寸劇やダンスなどの披露の場として提供させていただいておりましたが、コロナウイルスが流行してからは交流なく、施設内で職員がイベントを毎月開催してご利用者様にとっての楽しみイベントのひとつが無ならないようにし、楽しんでいただいています。	通常は地域の認知症を抱えた在宅の方や地域の高齢者に対して月一回のイベントのお誘いをして参加していただいたり、施設内で取り組んでいる対応などを民生委員の方を通して地域に発信したりしている。地域の方々の歌や寸劇やダンスなどの披露の場として提供させていただいておりましたが、コロナウイルスが流行してからは交流なく、施設内で職員がイベントを毎月開催してご利用者様にとっての楽しみイベントのひとつが無ならないようにし、楽しんでいただいています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	施設で起きている問題を運営推進会議の都度、積極的に意見交換及び改善の報告が出来ています。施設内で好転した対応策を民生委員様が地域に戻り個々の家庭を訪問した際のアドバイスに役立てていただければと考えています。また身体拘束委員会と虐待防止委員会も兼ねて開催しています。施設内の問題の解決方法、地域とどのように協力し合い繋がっていくかを毎回話し合っており、市役所職員との意見交換の場としてもとても良く思います。家賃免除の話が実現しました。	施設で起きている問題を運営推進会議の都度、積極的に意見交換及び改善の報告が出来ています。施設内で好転した対応策を民生委員様が地域に戻り個々の家庭を訪問した際のアドバイスに役立てていただければと考えています。また身体拘束委員会と虐待防止委員会も兼ねて開催しています。施設内の問題の解決方法、地域とどのように協力し合い繋がっていくかを毎回話し合っており、市役所職員との意見交換の場としてもとても良く思います。家賃免除の話が実現しました。	コロナ禍で3回は書面での開催だったが、それ以外は会議が開催され、有意義な意見交換ができています。特にグループホーム入所にあたり、家賃減免の実現を成功させたり、コロナ禍でも施設内の実際の生活について発信出来たことにより、会議のメンバーから大変役に立ったと感想が聞けたとの話がありました。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換しながら、施設内で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告し、意見を仰ぎ、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策などを考えています。また、施設内でおきた特別な事例は、市役所の介護福祉課の方へ連絡し報告しております。最近では南アルプス市の家賃免除の話が実現して嬉しく思います。	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換しながら、施設内で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告し、意見を仰ぎ、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策などを考えています。また、施設内でおきた特別な事例は、市役所の介護福祉課の方へ連絡し報告しております。最近では南アルプス市の家賃免除の話が実現して嬉しく思います。	運営推進会議の参加はもちろんのこと、施設内での困難事例に対し、的確なアドバイスを頂いたり、実際解決に市町村との連携が大きく影響したとの話があり、日頃から密に連携が取れています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指針基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行っています。最近では、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。玄関も施設は夜間の防犯対策として以外にはしていません。身体拘束の研修も施設内で約3ヶ月ごとに開催しています。施設外の研修の参加もしています。職員の入社時には必ず誓約書も交わしています。	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行っています。最近では、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。玄関も施設は夜間の防犯対策として以外にはしていません。身体拘束の研修も施設内で約3ヶ月ごとに開催しています。施設外の研修の参加もしています。職員の入社時には必ず誓約書も交わしています。	常に「身体拘束ゼロ」を目指し日々のケアを行っています。一般的な身体拘束はもちろん、特にスピーチロックにも心を配り職員同士で注意し合っています。「座っててください」もスピーチロックととらえ、「何かしたくて立つのだから寄り添って対応しよう」と行動しているとの話が聞けました。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアル作成をし、虐待防止委員会を月に二回開催しております。学ぶ機会として、最近、高齢者虐待に関する研修が多く、研修に参加した際には報告書として開示する様にして、職員会議にて概要を話し共有しています。職員会議内でも虐待防止についての研修を実施しております。事業所内でも職員同士が細心の注意を払って虐待防止に努めています。	マニュアル作成をし、虐待防止委員会を月に二回開催しております。学ぶ機会として、最近、高齢者虐待に関する研修が多く、研修に参加した際には報告書として開示する様にして、職員会議にて概要を話し共有しています。職員会議内でも虐待防止についての研修を実施しております。事業所内でも職員同士が細心の注意を払って虐待防止に努めています。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、新しい職員にも理解できるように職員会議で概要を話したりしています。	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、新しい職員にも理解できるように職員会議で概要を話したりしています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に職員と利用者様のご家族と一緒に契約書と重要事項説明書を読んで、十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、質疑応答をしておくことで理解納得を得ていると考えています。今迄、契約に関しては、特に問題になることはありませんでした。また随時見直しをしながら現状に合うよう変更もしております。	契約時に職員と利用者様のご家族と一緒に契約書と重要事項説明書を読んで、十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、質疑応答をしておくことで理解納得を得ていると考えています。今迄、契約に関しては、特に問題になることはありませんでした。また随時見直しをしながら現状に合うよう変更もしております。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けても、そこへの投稿は今までありませんが、直接、ご家族が来所の際に良く話す事で会話の中から引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するとともに、意見に対して取った行動を後日必ずお伝えするようになっています。	意見箱を設けても、そこへの投稿は今までありませんが、直接、ご家族が来所の際に良く話す事で会話の中から引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するとともに、意見に対して取った行動を後日必ずお伝えするようになっています。	コロナ禍ではあるが、月1回の受診時や電話連絡時に話す機会があり、利用者家族から感謝の言葉を頂いたり、細かな家族の意向等真摯に受け止め対応しています。		

自己評価および外部評価結果

自己評価		事業所名	アルプスのなかまたち	外部評価		
自己	外部	自己評価(実践状況)		外部評価		
		項目	ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が代表者や管理者に日常的に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようしています。特に、職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見ができるような関係にあります。また、月に1、2回開催される代表者と管理者が出席する職員会議の場でも職員との意見交換を活発に行っています。代表者が施設に出勤しているため、毎日、いつでも話せる環境になっております。	職員が代表者や管理者に日常的に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようしています。特に、職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見ができるような関係にあります。また、月に1、2回開催される代表者と管理者が出席する職員会議の場でも職員との意見交換を活発に行っています。代表者が施設に出勤しているため、毎日、いつでも話せる環境になっております。	代表者である管理者が、常に職員の意見を聞くこととする姿勢があり、ケアに関してや個人的な相談等、常に心を配り、管理者から職員に声をかけ、風通しの良い関係になっています。行事の企画等にも職員の意見を積極的に取り入れ、困難な問題でもどうしたらできるかを職員全員で検討し実行に移しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績を考慮し、昨年度から取り入れたキャリアアップ表に照らし合わせ給料に反映しています。労働時間に無理が無いようにし、役割を持つ事でやりがいが出ない様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員皆が助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境で運営出来ています。毎月の行事担当や担当の利用者様を持つことでやりがいももてる様になっています。また残業なし、定時退社、希望休100%取得、正社員登用制度などに力を入れています。	代表者は職員の努力や実績を考慮し、昨年度から取り入れたキャリアアップ表に照らし合わせ給料に反映しています。労働時間に無理が無いようにし、役割を持つ事でやりがいが出ない様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員皆が助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境で運営出来ています。毎月の行事担当や担当の利用者様を持つことでやりがいももてる様になっています。また残業なし、定時退社、希望休100%取得、正社員登用制度などに力を入れています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にもご理解があり積極的に、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。有給研修制度の導入をし、研修に参加しやすしたり、時には代表者から合う研修を勧めたりして頂きます。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、施設内でも資格保持者のもと随時研修を開催指導しています。施設内での勉強会やトレーニングも今度よりも沢山開催していく予定です。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にもご理解があり積極的に、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。有給研修制度の導入をし、研修に参加しやすしたり、時には代表者から合う研修を勧めたりして頂きます。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、施設内でも資格保持者のもと随時研修を開催指導しています。施設内での勉強会やトレーニングも今度よりも沢山開催していく予定です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受けることにもご理解があり積極的に、職員に協会の主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流を促したりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受けることにもご理解があり積極的に、職員に協会の主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流を促したりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に本人とご家族の要望を重視するようにしています。訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所作りにも努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。	常に本人とご家族の要望を重視するようにしています。訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所作りにも努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに搭合せ、サービスの提案をしています。また、入居後でも積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見守れる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。また、ご家族から代表者の携帯に直接電話をかけ、心配事や様子が聞けるようになっておりますので、電話がかかってくるのが日常的によくあります。	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに搭合せ、サービスの提案をしています。また、入居後でも積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見守れる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。また、ご家族から代表者の携帯に直接電話をかけ、心配事や様子が聞けるようになっておりますので、電話がかかってくるのが日常的によくあります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、摺り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応、アクティビティの個別対応など、入居者やご家族の個々の要望に応じる努力を行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、摺り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応、アクティビティの個別対応など、入居者やご家族の個々の要望に応じる努力を行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活で、利用者の方々が残存機能により出来る事は出来る限り行えるよう職員がサポートを提供しています。また利用者の方々の出来ない所を職員がお手伝いする事で「ありがとう」の言葉が施設内に飛び交っています。洗濯物を畳む、食事の支度や片付けの手伝い、掃除など皆積極的に手伝って下さいます。「利用者様と職員は家族」という経営理念の一つを職員は常に守るよう心掛けています。	日常生活で、利用者の方々が残存機能により出来る事は出来る限り行えるよう職員がサポートを提供しています。また利用者の方々の出来ない所を職員がお手伝いする事で「ありがとう」の言葉が施設内に飛び交っています。洗濯物を畳む、食事の支度や片付けの手伝い、掃除など皆積極的に手伝って下さいます。「利用者様と職員は家族」という経営理念の一つを職員は常に守るよう心掛けています。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設での出来事や日常の様子はご家族の面会時や月一回の「アルプスのなかまたち便り」内で各々の担当職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう努めています。また、ご家族に無理のない程度に協力を仰ぎ、ご本人のニーズ対応や病院受診をしていただく事でご家族と一体になってのケアを実現しています。体調の変化に対しても常に連絡しご家族と利用者様の絆を大切にしています。最近では見取りの方の食事介助にご家族が来所し亡くなる最後まで絆を深めました。	施設での出来事や日常の様子はご家族の面会時や月一回の「アルプスのなかまたち便り」内で各々の担当職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう努めています。また、ご家族に無理のない程度に協力を仰ぎ、ご本人のニーズ対応や病院受診をしていただく事でご家族と一体になってのケアを実現しています。体調の変化に対しても常に連絡しご家族と利用者様の絆を大切にしています。最近では見取りの方の食事介助にご家族が来所し亡くなる最後まで絆を深めました。		

自己評価および外部評価結果

		事業所名	アルプスのなかまたち		外部評価	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	誰でも来所しやすい施設になるよう施設内の雰囲気気を付けています。結果、コロナ流行以前はご友人や近所の方が良く面会に来られる利用者様が沢山で、とても来客の多い施設です。来客の方には利用者様と一緒にお茶を飲んで頂くようにしています。ご家族との関係が悪くなり入居となった方には、ご本人とご家族との関係改善に施設側が間に入り助め改善をしています。馴染みの理容室に行く方もいます。	誰でも来所しやすい施設になるよう施設内の雰囲気気を付けています。結果、コロナ流行以前はご友人や近所の方が良く面会に来られる利用者様が沢山で、とても来客の多い施設です。来客の方には利用者様と一緒にお茶を飲んで頂くようにしています。ご家族との関係が悪くなり入居となった方には、ご本人とご家族との関係改善に施設側が間に入り助め改善をしています。馴染みの理容室に行く方もいます。	コロナ禍ではあるが、完全な面会禁止はせず、窓越しの面会を続けました。また感染状況を見ながら散歩にも出かけ、できるだけ利用者にストレスを感じさせないよう対応しています。月1回の受診も外出の機会ととらえ、利用者、家族との関係継続の良い時間の提供となりました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者に同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時には小さな喧嘩もありますが、自室に籠もり過ぎられる方は一人もおらず、自分から望んでティールームで他者と過ごすことを楽しんでいるようです。耳の悪い方や認知症が重い方もいますが、職員が仲介役となり皆様の輪の中で過ごせるよう援助していますので、仲良く過ごせています。日常生活(野菜の皮むきや、お皿拭きや、洗濯物)などを協力してやっていた事で仲良くいられるようです。	時には小さな喧嘩もありますが、自室に籠もり過ぎられる方は一人もおらず、自分から望んでティールームで他者と過ごすことを楽しんでいるようです。耳の悪い方や認知症が重い方もいますが、職員が仲介役となり皆様の輪の中で過ごせるよう援助していますので、仲良く過ごせています。日常生活(野菜の皮むきや、お皿拭きや、洗濯物)などを協力してやっていた事で仲良くいられるようです。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方は、ご家族を通じご本人にお手紙を出すなどし、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、独居となっているご家族に対しては、時々連絡を取りながら、悩み事など伺いフォローしてきます。時々、施設にも足を運んでくれたり、清拭の布や果物をもってきてくださったりしています。	他施設に移られた方は、ご家族を通じご本人にお手紙を出すなどし、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、独居となっているご家族に対しては、時々連絡を取りながら、悩み事など伺いフォローしてきます。時々、施設にも足を運んでくれたり、清拭の布や果物をもってきてくださったりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には、紙とペンを渡して書いていただいたり、既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。在宅酸素をしながらお部屋での生活をしている方もいますので、こまめにお部屋に伺い本人の希望を聞いております。	最大限に努力し、努めています。耳が聞こえない方や、自分の意思が言えない方もいらっしゃいますが、紙とペンを渡して書いていただいたり、既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。	勤続年数の長い職員が多数勤務しているため、意向の把握が難しい利用者に対し、会話が可能な頃の状況から現在の意向を推測し、一言発した声から気持ちを理解することができ、利用者の笑顔が引き出せています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の普段の会話の中から出た思い出話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に経過支援記録に記載したり、職員全員で共有し、次期計画書作成時に役立つよう努めています。自宅の庭の剪定をした方に職員と一緒に家に行き剪定したり、畑が好きな方には施設内の家庭菜園にて畑仕事をさせていただいたり、その方らしい生活を大切にしています。	利用者様の普段の会話の中から出た思い出話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に経過支援記録に記載し、職員全員で共有し、次期計画書作成時に役立つよう努めています。手帳に日記を書くことが趣味で手帳を大事にする方、東京から入居した方は東京のチョコレートや東京の新聞を生活に取り入れ、漢字のドリルが好きな方には提供しその方らしい生活を大切にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	認知症の方は日々、心身状態や有する力が違いますが、利用者様の日々の現状を把握し職員同士で共有しています。また個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。利用者様一人一人のケアプランをケアマネージャーだけでなく職員も毎日モニタリングする事で現状の把握に努めています。代表者とも共有して最善の方法での介護を提供できるようにしております。	認知症の方は日々、心身状態や有する力が違いますが、利用者様の日々の現状を把握し職員同士で共有しています。また個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。利用者様一人一人のケアプランをケアマネージャーだけでなく職員も毎日モニタリングする事で現状の把握に努めています。代表者とも共有して最善の方法での介護を提供できるようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、必要な関係者の意見(医療機関や市役所を含む)やアイデアは十分に尊重して、話し合い、介護計画に反映し作成しています。また、利用者様一人一人のケアプランをケアマネージャーだけでなく、職員が毎日モニタリングする事で現状に即した介護計画を作成できていると思います。ご利用者様の状態に変化があった場合にはご家族に連絡をして介護計画を検討しています。	ご本人、ご家族、必要な関係者の意見(医療機関や市役所を含む)やアイデアは十分に尊重して、話し合い、介護計画に反映し作成しています。また、利用者様一人一人のケアプランをケアマネージャーだけでなく、職員が毎日モニタリングする事で現状に即した介護計画を作成できていると思います。ご利用者様の状態に変化があった場合にはご家族に連絡をして介護計画を検討しています。	ケアプランの重要性を職員全員に浸透させ、日々プラン内容の実施記録をチェック表に表しています。それにより職員一人ひとりが常にモニタリングし、家族・本人の意向・医療関係者の意見等を加味し、介護計画作成担当者が立てたプランを職員会で確認合っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。特別注意が必要な利用者様は専用のノートを作成記入し、受診の際にも持って行っていただきます。	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。特別注意が必要な利用者様は専用のノートを作成記入し、受診の際にも持って行っていただきます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具があるときは、業者を呼んでご家族と繋いでいます。施設内での美容室の対応もしております。身寄りのない方がなくなった場合のお葬式や納骨の支援もしました。	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具があるときは、業者を呼んでご家族と繋いでいます。施設内での美容室の対応もしております。霊柩の方には積極的に個別支援をしていたこともありましたが、現在入居している方が亡くなった場合のお葬式などもお願いされています。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	事業所名		外部評価		
			アルプスのなかまたち		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
			自己評価(実践状況)				
			ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族が対応できる利用者様には、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいています。難しい方に関しては、水曜日のお買い物の日や、職員が買い物に行く時を活用し昔馴染みの店などに足を運べるよう援助しています。地域からのボランティアの方の月に一回のイベントがコロナで開催できずにいますが、現在は職員が開催する月一回のイベントが利用者様の大きな楽しみの一つになっており施設での生活を豊かにしていると思います。	ご家族が対応できる利用者様には、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいています。難しい方に関しては、水曜日のお買い物の日や、職員が買い物に行く時を活用し昔馴染みの店などに足を運べるよう援助しています。地域からのボランティアの方の月に一回のイベントがコロナで開催できずにいますが、現在は職員が開催する月一回のイベントが利用者様の大きな楽しみの一つになっており施設での生活を豊かにしていると思います。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、確認したいことは、ご家族にお手紙を持たせたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、確認したいことは、ご家族にお手紙を持たせたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	利用者にとって、長年診察してきたかかりつけ医の継続がベストであると考え、入所時、利用者・家族の意向を踏まえ、協力医はいるが、かかりつけ医の継続を伝えています。施設での様子を詳細に書面にし、かかりつけ医に伝え、密に連携がとれています。また、家族にも利用者の状態を知っていただくためにも家族同伴の受診を依頼しています。家族が対応できない時や緊急性のある場合は左記通りです。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員でありますので、十分出来ていると思います。また代表者の旦那様が医師で見に来てくださいますので適切な判断が出来助かっております。医師の対応で命が助かった方も数名あります。	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員でありますので、十分出来ていると思います。また代表者の旦那様が医師で見に来てくださいますので適切な判断が出来助かっております。医師の対応で命が助かった方も数名あります。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し、病院への情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。入院期間中も職員が訪問し様子を伺ったりすることで病院との情報交換をしたり、退院時にも必ず訪問し情報交換をし、施設内での過ごし方の注意点などを詳しく伺うようにしています。	入院があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し、病院への情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。入院期間中も職員が訪問し様子を伺ったりすることで病院との情報交換をしたり、退院時にも必ず訪問し情報交換をし、施設内での過ごし方の注意点などを詳しく伺うようにしています。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医より疾患の予後伺い、ご本人及びご家族に施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を揃合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取りを行っている為、入居時と利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様になっています。事前に看取りの指針を説明し、同意を得る事でスムーズな対応が出来るようにしています。	主治医より疾患の予後伺い、ご本人及びご家族に施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を揃合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取りを行っている為、入居時と利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様になっています。事前に看取りの指針を説明し、同意を得る事でスムーズな対応が出来るようにしています。	入所時に看取りの指針を説明しています。終末期に入り、家族の意向が揺れ動き、その都度丁寧に意向を確認し医療関係者と連携を取りながら、穏やかな終末を迎えられるよう対応しています。個々のかかりつけ医により24時間診療対応不可の場合もあり、その場合は別の医療機関を提案し連携を取っています。コロナ禍ではあったが、終末期毎日30分の面会時間をもつて、家族・本人共に満足な時間が持てたと感謝の言葉をいただいたとの話が聞けました。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	介護ロボットを導入する事で、利用者様の呼吸状態や睡眠状態を把握でき、急変に対応できるようになりました。介護ロボットによって呼吸異常が早期発見でき命が助かった方も一名います。その他の急変に対しても、地域の方を交え施設にて職員全員が行った普通救命講習を復習したり、それ以降に入社した職員に対して普通救命講習への参加を行い学んでます。緊急時対応マニュアルも設けています。コロナ対応なども十分に訓練しきちんと対応できるようにしております。	介護ロボットを導入する事で、利用者様の呼吸状態や睡眠状態を把握でき、急変に対応できるようになりました。介護ロボットによって呼吸異常が早期発見でき命が助かった方も一名います。その他の急変に対しても、地域の方を交え施設にて職員全員が行った普通救命講習を復習したり、それ以降に入社した職員に対して普通救命講習への参加を行い学んでます。緊急時対応マニュアルも設けています。最近ではAEDを使い救急車が来るまで対応したケースもありました。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月9日は毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間や夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、出場所など想定を変え避難訓練の実技を行っています。また、トレットペーパーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。防災会社や地域の消防署にも訓練に参加していただき消化訓練の練習も全職員と消火器が使えるご利用者様がしています。	3月9日は毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間や夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、出場所など想定を変え避難訓練の実技を行っています。また、トレットペーパーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。防災会社や地域の消防署にも訓練に参加していただき消化訓練の練習も全職員と消火器が使えるご利用者様がしています。	ハザードマップでは災害地域には指定されていないが、火災・地震等を想定し、昼夜想定で年8回程度避難訓練が行われています。2回は消防署、防災会社の立ち合いの元、消火訓練・通報訓練等含め行われています。実際に利用者の避難も行われ、意識付けにもなっています。地域の方との協力体制もできています。太陽光発電の設置により停電時の対応も可能となりました。備品については左記の通りです。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の居室に入る際には「〇〇様、お部屋に入らせていただいても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーや自尊心を損ねないように心掛けています。またスピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては、職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	利用者様の居室に入る際には「〇〇様、お部屋に入らせていただいても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーや自尊心を損ねないように心掛けています。またスピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては、職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	全職員が利用者一人ひとりに対し、尊敬の念と疑似家族であるとの思いで接し、ケアに当たっています。入所当時は「早くお迎えが」と言っていた利用者が「100までがんばる」と言ったとの話が聞けました。スピーチロックも含め、利用者への声掛けには細心の注意を払い、笑顔を引き出す努力をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティーなど、一日のうち活動は沢山ありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に生活しています。食事、就寝に関しても自己決定を大切にしながら毎日の生活をいただけていると思います。利用者様の個々の訴えや希望を聞き、自己決定が難しい方には選択肢を出すことで自己決定が出来るような支援をしています。	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティーなど、一日のうち活動は沢山ありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に生活しています。食事、就寝に関しても自己決定を大切にしながら毎日の生活をいただけていると思います。利用者様の個々の訴えや希望を聞き、自己決定が難しい方には選択肢を出すことで自己決定が出来るような支援をしています。			



自己評価および外部評価結果

自己評価		事業所名	アルプスのなかまたち	外部評価	
自己	外部	自己評価(実践状況)		外部評価	
項目		ユニット名( 1 )	ユニット名( 2 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応したり、施設内で研修をしたりしています。服薬に関しては、必ず職員二人によるダブルチェックを採用しております。	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応したり、施設内で研修をしたりしています。服薬に関しては、必ず職員二人によるダブルチェックを採用しております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	皆様、同じ事を行うことを好まれてますが、個々の能力から何かの役割を持っていただき張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に援助しています。体操やアクティビティ、散歩などの提供を始め、嗜好品を食べながら趣味だった将棋をしたり、歌を歌ったり、脳トレや塗り絵や作品作りをしたり、積極性や笑顔が沢山見られています。利用者様が好きな時にお茶が飲めるようデイルームに用意してます。お部屋で大好きなラジオを聞く方もいらっしゃいます。	皆様、同じ事を行うことを好まれてますが、個々の能力から何かの役割を持っていただき張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に援助しています。体操やアクティビティ、散歩などの提供を始め、嗜好品を食べながら趣味だった漢字ドリルをしたり、歌を歌ったり、脳トレや塗り絵や作品作りをしたり、積極性や笑顔が沢山見られています。利用者様が好きな時にお茶が飲めるようデイルームに用意してます。お部屋で大好きなラジオを聞く方もいらっしゃいます。	
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ流行以前は、日用品が切れた時、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物外出の援助を行っていました。お菓子屋に寄って食べてくる事もありました。定期的にお外へ行く方もいました。コロナ過では密を避け、夏は暑すぎない日を冬は寒すぎない日を見計らって散歩など気分転換をしていたと思います。コロナの流行が収束し次第、買い物や外出を再開したいと思っています。以前は熱海旅行や結婚式の参加などで外出された方もいました。	コロナ流行以前は、日用品が切れた時、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物外出の援助を行っていました。お菓子屋に寄って食べてくる事もありました。定期的にお外へ行く方もいました。コロナ過では密を避け、夏は暑すぎない日を冬は寒すぎない日を見計らって散歩など気分転換をしていたと思います。コロナの流行が収束し次第、買い物や外出を再開したいと思っています。以前は熱海旅行や結婚式の参加などで外出された方もいました。	コロナ禍で遠出は難しいが、近所への散歩は日課として行っています。施設の目の前に団子屋があり、散歩帰りに購入することもあります。また広いデッキを利用して、お茶会や昼食会を行うこともあります。駐車場を利用して室内でのレクを外で行い、気分転換を図っています。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理してお金を預かるよう願われています。コロナ流行以前は毎週水曜日の買い物日に希望する利用者様はお買い物に出ています。コロナ流行後は欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた時には職員が随時対応したり、訪問販売の方(パン屋など)が来た際に買い物しています。お金は金庫にて管理しており、利用者様一人一人の小遣い帳をつくり、いつでも閲覧できます。残金は毎月ご家族に報告しています。	利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理してお金を預かるよう願われています。コロナ流行以前は毎週水曜日の買い物日に希望する利用者様はお買い物に出ています。コロナ流行後は欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた時には職員が随時対応したり、訪問販売の方(パン屋など)が来た際に買い物しています。お金は金庫にて管理しており、利用者様一人一人の小遣い帳をつくり、いつでも閲覧できます。残金は毎月ご家族に報告しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者に電話の使用など援助しています。手紙は未だ希望がありませんが、今後、希望があれば協力支援致します。コロナ流行で面会禁止になった際には電話をかけたご家族と話をしたり、超越した面会に電話を利用し話をしたり、ご家族様もご利用者様も寂しくならないように支援しました。できる限りご家族にご本人の気持ちや伝わるように支援しています。携帯を持っている方は自由に話しています。	希望者に電話の使用など援助しています。手紙は未だ希望がありませんが、今後、希望があれば協力支援致します。コロナ流行で面会禁止になった際には電話をかけたご家族と話をしたり、超越した面会に電話を利用し話をしたり、ご家族様もご利用者様も寂しくならないように支援しました。できる限りご家族にご本人の気持ちや伝わるように支援しています。携帯を持っている方は自由に話しています。	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々として常に清潔にしています。昼間は音楽を流し心地よい空間を作り、壁には利用者様が作った作品を飾って暖かい雰囲気を作ります。浴室も明るく温泉の様な雰囲気です。また、廊下で一休み出来る様に畳のベンチを3個置いて居心地良い空間を作ります。お部屋やデイルームの窓から見える屋敷神様の祠や、家庭菜園や、お花も趣や季節感を感じさせてくれます。	天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々として常に清潔にしています。昼間は音楽を流し心地よい空間を作り、壁には利用者様が作った作品を飾って暖かい雰囲気を作ります。浴室も明るく温泉の様な雰囲気です。また、廊下で一休み出来る様に畳のベンチを3個置いて居心地良い空間を作ります。お部屋やデイルームの窓から見える屋敷神様の祠や、家庭菜園や、お花も趣や季節感を感じさせてくれます。	共有スペースは、天窓や大きな掃き出し窓があり、十分な光が入り、明るくゆったりとした空間になっています。廊下には畳敷きのベンチが3つあり、利用者同士や職員と利用者を楽しみ会話を楽しめる工夫がされています。また、マッサージチェアも置かれていました。壁には利用者や職員合作の作品や季節を感じさせる飾りが施され、温かい雰囲気になっています。広いデッキも備えられており、外気浴や外の花壇や家庭菜園も見られるようになっています。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話したり、廊下の畳のベンチで話したり、デイルームのマッサージ機でマッサージをしたり、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。デイルームの席の配置に気を遣い、気の合った利用者様同士での席の配置を心掛け、利用者様同士でのトラブル発生時には臨時の席替えもしています。	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話したり、廊下の畳のベンチで話したり、デイルームのマッサージ機でマッサージをしたり、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。デイルームの席の配置に気を遣い、気の合った利用者様同士での席の配置を心掛け、利用者様同士でのトラブル発生時には臨時の席替えもしています。	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、亡くなったご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真などを飾ったり、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に居居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、亡くなったご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真などを飾ったり、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に居居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	基準よりも大きめの居室を提供し、家具や電化製品、家族の写真やご自分の作品等、自宅での生活が継続していると錯覚するような、心地よい空間になっています。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	少しでも出来るのにしていなかった事、また、出来るのにする機会に恵まれてなかった事に目を向け自立できる所を増やせるよう援助しています。出来ない事は支援し出来る事になる様に、必要な方には建物内部のトイレや居室にナースコールを付け困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。手摺りや畳のベンチなどを使い自分で歩けるように、疲れたら休めるベンチと手摺りの配置をしています。デッキのベンチに座ることで利用者様が一人で外気分を味わえるようにしています。	少しでも出来るのにしていなかった事、また、出来るのにする機会に恵まれてなかった事に目を向け自立できる所を増やせるよう援助しています。出来ない事は支援し出来る事になる様に、必要な方には建物内部のトイレや居室にナースコールを付け困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。手摺りや畳のベンチなどを使い自分で歩けるように、疲れたら休めるベンチと手摺りの配置をしています。デッキのベンチに座ることで利用者様が一人で外気分を味わえるようにしています。	